

THAT'S
FINE
TUNING

ノーマルエンジンを
ベストなセッティングにすることで
パワーアップ

これが ファインチューニングだ!!

by テクニカルサービス・トライアル

ある日、編集部に読者からこんな手紙が届いた。

「前略、CR編集部のみなさん。
僕の話を聞いてください。

僕と友人のAは、同年式のまったく同じノーマルのクルマに乗っています。だけど、Aのクルマの方

が鋭い加速でとても良く走るんです。
また、燃費もイイみたいです。

僕のクルマの調子は別に悪くはありません。なのにAのクルマの方が確実に速いのです。両方ノーマルエンジンなのにどうしてこんなに差が出るのですか？」

そこでCR編集部はこのノーマルエンジンの個体差の謎を解くべく、テクニカルサービス・トライアルの協力を得、まったくのノーマルエンジンをベストなセッティングにもっていくことで、どこまでパワーが上がるのかテストしてみることにした。

★大量生産から生まれる各エンジンの個体差★

今日の自動車産業においてオートメーション化の中、大量生産から生まれる各エンジンには、多少の個体差があるのは知っているところだ。

たとえば、A社のツインカムOXエンジンがカタログ表示でネット15

0psあったとする。だが、ストリートを走っている多数のOXエンジンすべてが最大パワー150psを発揮しているわけではないのだ。シャシーダイナモでチェックしてみると、145psもあれば140psもあるだろう。

(シャシーダイナモはタイヤからのパワーを計測するので、カタログ表示よりも数値は落ちることになる)。また、そのパワーの盛り上がり方も、それぞれ多少、異なるはずだ。したがって別にクルマの調子が悪